

24年度完成予定!

沼津市では、合併に伴う新市建設計画に盛り込まれた「戸田地域活性化センター(仮称)」の概要が固まり、12月4日の市議会総務経済委員会に報告しました。

同センターは、国民宿舎跡地に民設民営での公募をしましたが該当する事業者がなかった経緯から公設で元戸田製作所跡地の市有地に建設されることになりました。

施設内には、老朽化した老人憩いの家、老の湯、戸田窓口事務所機能を集約させた上で、コミュニティ、防災の拠点、観光案内所としての機能も入る計画。

市は来年度に実施設計、23年度に工事着手、24年度に完成の予定で進めています。

横には、県の加工体験施設が建設される予定で、これらの計画が同時に進められています。

(仮称)
戸田地域活性化センター



戸田地区にも 光ファイバー網整備

沼津市は住民からの要望により

口野地区以南の西浦地区や戸田地区に光ファイバーを敷設する予定です。この沼津南部地域の整備が完了すれば沼津市全体に光ファイバー網が整備されることになり

12月11日市情報システム課による説明会が実施されました。

この光ファイバー網が整備されると、高速大容量通信の実現により、インターネットを利用した、より高度なビジネスへの利用拡大が予想される他BS、CS、CATV(ケーブルテレビ)の映像視聴も可能になります。

戸田地区のブロードバンド環境の現況としては、インターネットは電話回線を使用したADSLの整備がされていますが、基地局からの距離が遠く通信速度が遅い現状です。

またNTTが自社で使用する光ファイバー網が整備されていますが、容量が小さいため公共施設での利用のみとなっています。

光ファイバーを使うと、通常の電話回線の数百倍の通信速度を得られることから、大容量の音楽や動画の配信などマルチメディア時代の生活形態が可能になります。

戸田小6年生

修学旅行で

ロシア大使館訪問

戸田とロシアの関係は、日本では知る人ぞ知るところです。ですが、今回の戸田小とロシア大使館との仲立ちをしてくれた日ロ文化交流センターの平岡幸雄理事長に伺ったところ、ロシアでは戸田に親しみを持っている人が多いそうです。

戸田村時代にはロシア大使館の要人を招いたり、子どもたちが海水浴に來たり、何かと交流がもたれていました。

戸田小学校では、幕末の戸田とロシアのかかわりから、東京への修学旅行に港区麻布台にあるロシア大使館を表敬訪問したいと申し出ました。

1月27日

読み聞かせ倶楽部たちばな

ロシア大使館訪問

ロシア大使館の子どもたちにも「ヘタ号建造」にまつわる友愛の歴史を知ってほしい!

これに対して大使館では快く了承し戸田小(真野文雄校長)の6年生20人を受け入れました。

一般人が施設内に入ることはめったに出来ない同大使館では、小学校単位で子供たちを受け入れたのは初めてということでした。

子どもたちは「A・O・フェニョン1等書記官の応対で、施設内のレセプション会場やシャンデリア、レタリング風のロシア市街地の絵などを見学し、その豪華さに感動した様です。

真野校長は、「このような交流表敬訪問は戸田小にしかできないこと。これを機に毎年恒例にして戸田小の新しい歴史を作っていければ」と話しています。



戸田小学校、中学校で月1度朝の読み聞かせを行っている「読み聞かせ倶楽部たちばな」(山本郁子会長)では、戸田の歴史を子どもたちに伝えようとかの折りに「ヘタ号建造の歴史に焦点をあてた紙芝居「きずなを乗せた船ヘタ号」日本とロシアの友好の道」を上演しています。

このたび「たちばな」がロシア大使館へ紙芝居の上演を申し込んだところ快く受け入れていただいたため、1月27日大使館の新年会で上演することになりました。